



平成 30 年度 チタン研究助成 対象研究課題の公募

(一社)日本チタン協会 平成 29 年 9 月

1. 目的

チタンは、軽量かつ比強度に優れ耐食性にも優れた金属としてその需要が徐々に広がってきており、今後も利活用が拡大すると著しく期待される 21 世紀を先導する貴重な金属です。

特に、地球環境保全やエネルギー問題が重要な課題となっている現在、優れた耐食性やリサイクル性、省エネルギーの期待に応えられる金属として高く評価されています。このように優れた特性を持つチタンをより進化させ、用途分野拡大を図ることは時代の大きな流れといえるでしょう。

チタンを拡大発展させるには、多方面からの技術研究・開発が重要となってきます。

本助成事業は、チタンの研究・開発を行う若手研究者の育成をめざすと共に、チタン利活用のさらなる可能性を広げるため、長期的展望に立ち、若手研究者の優れた技術研究・開発や、その成果を世界に発信するための活動に対して助成を行い、チタン研究・開発にブレークスルーをもたらすとともに、若手研究者の研究意欲を高めることを目的とし平成 20 年度に創設されました。研究者各位に於かれましては、研究の一助とされるべく奮ってご応募頂けますようご案内申し上げます。参考までに平成 29 年度助成対象者名を表 1 に、平成 26～28 年度の助成対象者・研究課題名を表 2 に示します。研究成果に関しては毎年チタン誌 10 月号（日本チタン協会機関紙）に掲載しております。過去に本研究助成を受給された方につきましては選考審査にて、その点を考慮させて頂くこともございますことをお含みおき下さい。

表 1 平成 29 年度 チタン研究助成 助成対象者

平成 29 年度	O, M i n h o	東京工業大学
	松垣 あいら	大阪大学
	関本 英弘	岩手大学

2. 応募要領

応募ご希望の方は、別紙公募要領に沿った内容であることを確認の上、応募申請書に必要事項を記入頂き、電子メールで（一社）日本チタン協会宛てに提出下さい。

3. 募集期間

応募期間は、平成 29 年 9 月 26 日～同年 12 月 5 日迄とします。募集締切日以降は受付け出来ません。

4. 助成案件決定

平成 29 年 5 月末を予定。

5. 公募要領等入手方法

「チタン研究助成対象課題」応募要領並びに「チタン研究助成」応募申請書を（一社）日本チタン協会のホームページから入手して下さい。用紙入手困難な場合は、（一社）日本チタン協会にお問合せ下さい。

（一社）日本チタン協会ホームページ URL: <http://titan-japan.com>

6. 問合せ先及び申請書提出先

（一社）日本チタン協会 〒 101-0047 東京都千代田区内神田 1-5-13（内神田 TK ビル）

電話 03-3295-5958 E-Mail: kinoshita@titan-japan.com 木下 和宏

表 2 平成 26～28 年度 チタン研究助成 助成対象者と研究課題

平成 28 年度	石本 卓也	大阪大学	金属粉末積層造形法による力学機能自在設計型チタン基合金製骨インプラントの創製
	山中 謙太	東北大学	電子ビーム積層造形によるチタンの新しい組織制御法の提案:形状・組織の同時制御に向けた基礎検討
	谷ノ内 勇樹	東京大学	塩化マグネシウム溶融塩中でのカソード分極によるチタンおよびチタン合金からの固溶酸素除去
平成 27 年度	曙 紘之	広島大学	拡散ピーニングを援用したチタン合金表面への高機能窒化層の形成
	劉 恢弘	東北大学	脊椎固定器具用チタン合金におけるヤング率自己調整機能の制御原理
	田原 正樹	東京工業大学	単結晶を用いた準安定 β -Ti 合金の変形メカニズムについての研究
平成 26 年度	関 一郎	東北大学	電気化学とフラックスを用いた塩素レスのチタン溶融還元プロセスの構築
	多根 正和	大阪大学	生体用チタン合金単結晶およびマイクロメカニクスモデルを利用した熱的 ω 相の生成と弾性特性の相関関係の解明
	當代 光陽	大阪大学	Ti-15Mo-5Zr-3Al (wt.%) 合金単結晶インプラントの開発



「チタン研究助成対象研究課題」応募要領

(一社)日本チタン協会

平成 29 年 9 月

1. 研究助成の応募方法

所定申請書に記載の上、当協会事務局に、締切り日までに電子メールにより提出して下さい。なお、提出後 5 日以内に協会より受信の受付の連絡がない場合には、確認の問い合わせをして下さい。

2. 対象とする研究案件

研究対象を幅広く捉え、金属チタン・チタン合金に関連した材料系の製造プロセス・物性・機能・加工・設計・感性工学・極限環境性能・用途開拓などを含む基礎および応用分野とする。金属チタン・チタン合金に関する研究技術開発を飛躍的に発展・拡大させる新規性・独創性の高い課題を重点的に採択します。

3. 応募資格

国内の大学、短大、高専、工業高校、公設研究機関（国内の大学、短大、高専、工業高校、公設研究機関、学校法人及びそれに準ずる研究教育機関）に在籍する研究者（学生は除く）で、助成開始年度の 4 月 1 日現在において 40 歳以下の研究者（個人又はグループの代表者）とします。

4. 助成期間

期間は、毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間とします。

5. 助成金額

研究助成は、1 案件当たり 40 万円とします。なお、申請者が所属する機関によるオーバーヘッドや間接経費は認めておりません。

6. 年間助成件数

研究助成は、年間 3 件程度とします。

7. 応募可能数

個人あるいは 1 グループで 1 件とします。

8. 助成案件の選考

助成案件選考は、選考委員会が行い、その選考結果に基づいて理事会が採択します。

9. 助成案件決定の通知

理事会の承認を得た後、助成の可否について電子メールで申請者に通知します。助成適用案件については、申請者の氏名、所属機関、研究案件名を助成期間終了後、(一社)日本チタン協会ホームページで公開します。

10. 研究成果概要の報告

研究成果は、助成金受理の翌年 4 月 末 日までに「研究成果概要」と「助成金の使途概況」を事務局宛に電子メールでご報告頂きます。報告書のフォームは、両方が記入できるようにしており、助成採択通知時に送付致します。

11. 助成金の使途範囲

助成金の使途先は、原則として応募申請書の助成金使途内容にしたがってください。使途報告は、会議費、設備費、消耗品費、交通費などの区分とします。なお、報告書のフォームは 10. 研究成果概要と同様です。

12. 研究成果の公表

成果は、助成終了年の(一社)日本チタン協会誌「チタン」10 月号に論文発表の形式でお願いします。他の広報誌との投稿順序は問いません。なお、研究成果発表においては「チタン研究助成」を受けたことを明記して下さい。

13. 助成の中止

助成対象者が、助成期間中に応募資格を喪失した場合、(一社)日本チタン協会が事情を聴取の上、助成を中止し、助成金を返還頂く場合があります。

14. 助成金の支払い

案件採択通知後 1 か月以内を目途に、原則、申請研究者の所属機関に奨学寄附金もしくはそれに準ずる形（個人口座への入金はいりません）で支払います。

15. 募集期間

応募期間は、各年 9 月 下旬～同年 12 月 5 日迄とし、規定の応募用紙に必要事項を記入し、電子メールにてご提出下さい。募集期間を過ぎての受付は出来ません。

16. 公募要領等入手方法

「チタン研究助成公募要領」並びに「チタン研究助成申請書」を(一社)日本チタン協会のホームページから入手し、必要事項記入の上、提出して下さい。用紙入手困難な場合は、(一社)日本チタン協会事務局にお問合せ下さい。

(一社)日本チタン協会 URL: <http://titan-japan.com>

18. 問合せ先及び助成案件等書面の提出先

(一社)日本チタン協会 事務局 木下 和宏

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-5-13 内神田TKビル (2 階)

電話 03-3295-5958 FAX 03-3293-6187

E-Mail: kinoshita@titan-japan.com